

乳児院への包括的里親支援事業の委託に係る評価について

令和 2 年 11 月 2 日 県里親委託等推進委員会提出資料

児童相談・養育支援室

1 養育里親の登録等の実績 R2年8月末現在

| | | H26 年度 | H27 年度 | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 | R1 年度 |
|--------------------------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 養育里親；全県 ※親族による養育除く | | 2 | 9 | 4 | 2 | 11 | 27 |
| (内)中央・佐久 | | 2 | 6 | 1 | 2 | 6 | 10 |
| (内)うえだみなみ ※愛称：フォスターホーム (FH) | | | | | | (※1) 3 | (※2) 6 |
| FH の 割合 | 全県 | | | | | 約 3 割 | 約 2 割 |
| | 中央・佐久 | | | | | 5 割 | 6 割 |
| 上記の内、受託中の 里親 <<全県>> | | 0 | (※3) 8 | 1 | 1 | 3 | 8 |
| 同 FH (※4) <<うえだみなみ>> | | | | | | 1 | 4 |

(※1) この他、既に登録済みの養子縁組里親 (1 家庭) が FH (養育里親) に追加登録

(※2) この他、既に登録済みの養育・養子縁組里親 (2 家庭) が FH として追加登録

(※3) 8 家庭のうち 2 家庭はファミリーホームに転換し子どもを養育

(※4) 上記追加登録の FH を含む子どもを養育している里親数

2 児童相談所による評価 (概要)

- (1) リクルート活動の成果及び希望者等に対する独自研修の内容に対する評価が高い。
- (2) 子どもと里親 (FH) のマッチングに係る手続きの煩雑さや、共働きであったり、実子を養育中の家庭が比較的多く登録されていることから、登録数に比べて子どもの委託が進まないとの指摘があった。
- (3) 全体としては、事業の継続・民間委託の拡充を求める声が多い。

3 うえだみなみ乳児院の自己評価 (概要)

- (1) つながりを大切にするため、連絡等をこまめに取ったり、LINE 等を活用していつでも相談しやすい体制づくりに努めた。(柔軟な対応や同じ職員が継続して関わることができる点が民間委託の利点と考えられる。)
- (2) 市町村等の関係機関の理解を得ることが難しい場合があった。

4 養育里親 (愛称：フォスターホーム) による評価等 (概要)

- (1) 13 家庭 (R2 年度新規登録 1 家庭含む) にアンケートを送付したところ 10 家庭から回答があり、県 (うえだみなみ乳児院) の取組に協力的な姿勢がうかがえた。
- (2) 登録手続きや登録後のフォロー・研修等について丁寧な対応やその内容について評価が高く、委託後の支援についても概ね好評である。

【全体評価】

- (1) 児童相談所から委託が進みにくいとの声もあったが、徐々に委託実績が出てきている。
- (2) 積極的なリクルート活動により、多くの登録数を確保するとともに、手続き等のプロセスを通じて意図的に里親と信頼関係を構築している。
- (3) (県・児相を含め) 事業に対する関係機関等の理解をさらに得ていく努力や、児童相談所との手続きのすり合わせなど、事業の内容・運営について改善する余地がある。

(まとめ・今後の方向)

民間委託により、児童相談所とは異なる丁寧かつ継続的な養育里親支援が行いやすい。委託箇所を一気に拡大するまでの基盤ができたとは言えないが、乳幼児 (特に 3 歳未満) の里親委託の大幅増が求められる中、事業に係る理解促進や内容の質を向上させるためにも、少しずつ事業を拡大 (乳児院への委託箇所数増等) することが望ましい。

◎事業を拡大していくにあたり、児童相談所等との連携・協力体制を整理しておくことが必要である。